

材料なしの保育案

國內の物資は凡て戦力増強の爲に集中せられねばならない現在、幼稚園の保育材料も従來のやうなわけにいかないのは當然過ぎる程當然のことで、吾保母もこの點大いに考へなければならぬところである、そこでこの度「資材なしの保育案」といふものを伺つたところ、次の三玉稿を得た。何かにつけて御多忙なところを、本誌の爲御快諾下さつた淨謙、作田の二先生に御厚禮を申上げると同時に、この主旨の試みを實行せられておいでの幼稚園から、どし／＼御投稿いたゞき度く合せてこゝに御願する次第である。

戦時保育の一特長

(編輯部)

保育材料の足りないことは戦時幼稚園の免れ難い事である。多い少ないをいへば多い方がいゝにきまつてゐる。十分と不足とをくらべれば不足は不足に相違ない。しか

しその缺乏も不足も、ほかの理由からではない。戦時下一言半句の不服も嚴禁である。その上、足りなければ足りないだけに、

保育者の工夫の力が出、工夫のし甲斐もあるのである。何ごにも一ぱいに力を用ゐてゐるのが戦時である。材料の乏しさを工夫の豊かさで補つて餘りあらしめるのが、それこそ戦時保育の一特長でなければならぬ。決して戦時保育の短所たらしめてはならない。

但このために大きな努力を要するのは素よりである。諸方面の上に行はれてゐるこの點の努力に對して深く敬意を表する。

(倉橋生)

決戦下保育の試み三つ

奈良女高師附屬幼稚園

淨謙 子サコ

愈々大東亞戦争は第三年目に入った。南に北に、今此の瞬間も暴虐米英撃滅の熾烈

なる戦ひを續けて居られる皇軍に應へて、我々もあらゆる困苦缺乏に堪へ、この戦ひを勝ち抜かねばならぬ。この意義深い、然しながら幾多の障害をひかへた戦を戦ひ抜き、明るい大東亞の黎明を築き上げる日まで、一億の國民が心ひとつに暮して行かねばならぬ時、大切な御國の子等をあづかる我々の保育も、顧みて遺憾の點はないか、新しく検討し直さねばならぬと思ふ。

子供達、これは皆御國の子供たちである。かけがへのない尊いひとりで、である。この子供達だけは、どんなことがあつても、さうかして健かに、強く、正しく、明るく、伸ばしてやりたいものである。が、反抗にいよいよ逸る敵米英は、その量をとらんで、殿しい我が備へをも突破して、内地を襲ふことが無いとも限らない。又、長期の空襲態勢に入らねばならぬ時が来ないとも斷言することは出来ない。然しながら、斯る時にも我々は、動ぜず、あわてず、一刻たりとも、大切な御國の子供の保育を忘れてはならぬ。非常の時の爲の、臨機の保育を、常々、否、今直ぐにも考へて用意

せねばならぬ。これは、決戦下に保育の任にあるもの、當然の務めであるといはねばならぬ。又、時局緊迫の度を加へるに従ひ、各種の物資は極度の制限を受け、その餘剰の力を戦力増強にふりむけねばならぬ時、保育に必要とする設備、並びに種々の材料も亦、不備不足となるのは云ふまでもない。かうした設備の不完全、材料の不足をも克服して、楽しく、明るく、子供達を育て、行くことも亦、今の我々に與へられた一つの大切な仕事である。即ち、ありあはせのものを使用して、機智を働かせ、工夫創造によつて、様々の利用價值を見出し、それを活用することが肝要なのである。

尙又、保姆の手を出来るだけ省いて、能率の増加をはかることも大切である。以上述べた如く、種々の意味から、従来の、調つたお膳立ての上に組み立てられた保育は、こゝに新しく、大きく切りかへられて、時代のあらゆる要求に即應して、保姆の機智、工夫創造と、實踐による簡素化された、決戦態勢の保育が誕生し、確立されねばならないと思はれるのである。斯くして、如

何なる困苦缺乏の中にあつても、日本の子供たちは、我々の手で、逞しく、明るく、伸び伸びと、育てあげるのでといふ、自信と覺悟を我々は持たねばならぬ。さうした意味から、こゝに決戦下の保育を二三考へて見たいと思ふのである。

(一)

題材 小石ならへ
 目的 物資不足の折柄、積木も手に入らず、排べ板等も中々得られない。かうした時、庭にころがつてゐる小石を集め、これを使用して遊ばせる事により、構成力を鍊り、工夫創作力を伸ばし、更に、自然愛好の心、素朴な氣持を養ふ一助とも資したい。直徑二糎から六糎位までの小石を、出来るだけ澤山集め、數個のザルに分け置く。

方法

- 1、晴天の日、幼児と共に、庭の小石を拾ひ集める。土を着いてゐるものは、綺麗に洗つてザルに入れ置く。
- 2、冬の寒い日ならば遊戯室、又は保

育室で、机を全部片付けて廣い場所を作る。五六人の幼児を一組として、一籠の小石を與へ、廣い場所に出來るだけ大きなものを作らせる。幼児達は、與へられた小石を利用して、軍艦、飛行機、汽車、お家等、色々工夫創作をなし、非常に興味深く遊ぶやうである。氣候の良い時は、戸外の蔭の上でやらせるのもよい。材料が少くなると、拾ひ集めて來ては、遊びが擱げられて行くのも面白い。

3、小石に、木の葉、草、割箸などを併用すると、變化のある面白い遊びが出来る。

(二)

題材

目的

米英撃滅
 物を投げることは、幼児達にとつて本能的に興味ある事であり、又決戦下の實生活に於ても是非必要なことであるが、幼児の生活のうちには、

かうした運動を行ふ機会が少いやうである。米英撃滅といふ遊びをして、一面には、投擲力を練磨し、又一方に於ては、敢闘精神を高揚したい。

準備

1、一枚の新聞紙を二つ折りにして、
両面に墨汁で敵國の飛行機を描き置く。

2、遊戯室中央に、高さ二米位の位置に柱を利用して、紐を引張る。

3、紅白球

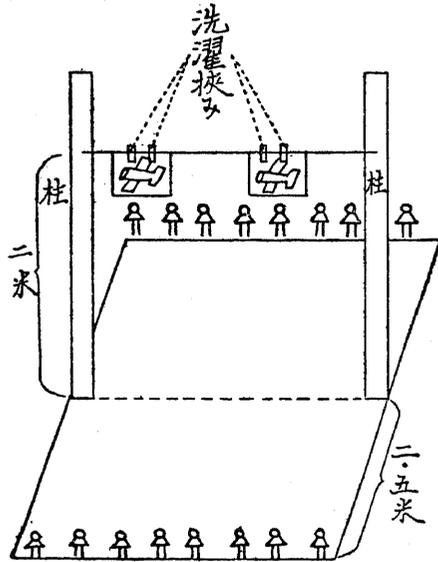
4、洗濯扱み

5、笛

方法

1、机の上に墨汁二皿、筆五、六本を用意し置き、登園幼児より、新聞紙を二つ折にして両面に、思ひきり大きく敵國の飛行機を描かせる。競技を何回も繰返すため、全幼児に描かせて置くと、一組三十人として、紅白二組に別れて、十五回競技が行はれる。

2、描きたる飛行機が乾きたる頃、遊



戯室に圖のやうな準備をなす。

遊戯室ならば、柱、戸外ならば庭の木を利用して、地上より二米の高さに紐(小包用位なもの)を引張る。其の紐に二つ折りの新聞のわさの方を掛け、洗濯扱みに二ヶ所挟み置く。飛行機を中心にして、二米半宛離れた床の上に線を引き、此の線上より兩軍が、紅白の毬を投げて飛行機を打ち破るのである。毬は手に持てる

注意

だけ澤山持たせる。一つ持つて一つ投げるのでは面白くない。四角或は五個位手に持ち、規定の線上に立ち、續けて投げると効果的である。

1、紅白の毬

は、何處の幼稚園にもあると思ふが、お作りになる方の参考までに申し上げたい。當幼稚園では左圖の如き型



紙を興へ、幼児の家

庭で紅白一個宛作らせた。即ち上圖の機なアレー型を二枚布切で作り、それを縫ひ合せて裏返し、その中に紙屑を入れると大きさも揃ひ、固さ

も丁度適當なものが出来る。一度に、幼児の数の倍の毬が出来るので、それは色々の遊びに使用出来るから、作つて置かれるとよいと思ふ。

2、飛行機と、毬を投げる位置との距離は、幼児の投擲力によつて適宜變化して行く。

3、男女別、男女混合、色々組合せてやると面白い。

(三)

題材

（從來のかけえは、電氣の光線、又は太陽の直射光線を利用して映したものであるが、割合に光線の弱い冬の日の室内、又は雨の日でも出来るやうな方法を考へて見た。）

目的

幼児は、地上に自分の影を映して影踏鬼に興じ、夜、電燈の下で、障子に映る様々な影を見ては、非常な興味と神秘を感じるものである。今日は、簡単な映寫幕を作り、太陽光線を利用して、自然物、繪本の切り抜

き等を映し、楽しく幼児を遊ばせ、それによつて、幼児の科學心啓培の一助ともなし、又、幼児自身に實演させることによつて、言葉の練習にも資したい。

準備

1、映寫幕 古い額の出来るだけ大きなものに、人絹の白布、又は硫酸紙を押ピンにて張りつけ、それを人體が隠れる位な高さの机、又は箱の上のせて積木で支へて立たす。

2、登場するもの 繪本を切り抜いた人物、動物、軍艦、戦車等を割箸の先に挟んで左圖の様に柄をつけ、持ちやすき様にして置く。其他自然物、草、木の枝など。

3、蓄音機及びレコード

方法

1、先づ、幼児に古繪本の繪を切り抜かせ、又は少し厚い畫用紙に描かせたる繪を切り抜かせ、持ち易きやう割箸をつける。

2、映寫幕の下部の方には、庭の草を

取つて来て、押ピンでつけるか、又は粘土につきさして置くこと、地上を表現することが出来る。

3、最も簡単な遊び方の一例をあげる。最、勇しいレコードの曲につれて、

戦車、装甲自動車、騎兵、歩兵などを次々に映寫幕の左端から右に送り、更に下を通つて、左から右へ動かして行くこと、勇しい進軍の様子を表現することが出来る。又、映寫幕の下部に、水色の紙で波型を作り、押ピンでとめ、軍艦行進曲の曲に合はせて軍艦の切り抜いたのを動かして行くこと、我が無敵海軍、堂々進撃の姿を表はし、鶏の親子を登場させて、レヒョコガニハテグと歌ひ乍ら餌を拾ふ表現をなすことによつて、豊かなる親子の愛情に浸らせることが出来る。又、兎と龜を登場させて、簡単な會話をしながら駈けくらをさせるのも、言葉の練習によいと思ふ。以上は幼児が人形を使つて出来る簡単なものであるが、保姆が少

し手をかけて、童話を映寫してやる
と、子供たちは非常に喜ぶ。

かげるは登場者が動くこと、幕を一枚隔て、影が映る所に、幼児の想像性を満足させ、白と黒の二色で表現される所が、映畫と相通するものがあり、子供を喜ばせる。一人で四つ位は人形を持つことが出来る。猶、固定したものは、映寫幕の内側に粘土の塊を置き突き挿すと便利である。

注意

1、氣候の好い時は戸外に出て木の枝に白布を吊しても簡単に出来る。戸外である時、椅子は持ち運びに不便であるから、小さな蘆を各自携帯させる。この蘆は古疊の表を三十五糎四方の大きさに切り、周圍を疊の様に布で縁取りをする。これは各自家庭で作らせると簡単に出来る。この蘆は非常に嵩がひく、携帯に便利であるから、戸外の運動に疲れて休む時、防空壕に入る時、飯事の時の座

布圍等、色々な事に使用出来るので
參考までに附記して見た。

2、映寫幕は弱い光線の場合は、人絹のやうな薄い布が良い。

4、登場人物は、出来るだけ映寫幕に
近付けて動かす。

資材なしの保育案

石川女師附屬幼稚園

作田せつ

凡そ保育案だけで保育は出来ぬ。これ等の與へ方が大切なのである。書現せない部面に大切な保育のある事を忘れてはならぬ。

第一案

繩遊びが主となる日 屋内の保育、火鉢等なし

準備

長い繩二本 藁繩でよし
短い繩數本

ボール一個

朝の遊び——朝會への緊張に備ふ

魚雷遊び(ボール遊び)

身體を温くさせる程度に

全體の子供が適度に温まるやうに
四角張らずに(自由遊びの氣持)
約束〇足に當つたら沈没

〇人の事を云ふな、自分の足下をみよ

方法〇遊戯室一杯にひろがること

〇先生が潜水艦で魚雷發射

〇先生も子供も自由にどこでもかけ廻つてよい

要領〇全體の子供が動けばよいのである。ボールの速度をうんとおそく。

そして前後左右に追ふこと、始めから當つてしまつては意義がない。徐々に速度を速める。

〇相當温もつた頃から續々當てることと當て始めたなら短時間に的中させる。

〇全體の子に當て、しまふ必要はない運動量と採暖の状態によつて中止

〇朝會とのけじめをはつきりさせる
ところに訓練の要領あり。

朝會へ〇口をどちて